

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

招 集

令和5年12月22日（金）本会議休憩中 議場

出席委員（26名）

| | | | |
|--------------|---------------|---------|---------|
| （委員長）奥 岩 浩 基 | （副委員長）津 田 幸 一 | | |
| 安 達 卓 是 | 伊 藤 ひろえ | 稲 田 清 | 今 城 雅 子 |
| 岩 崎 康 朗 | 大 下 哲 治 | 岡 田 啓 介 | 門 脇 一 男 |
| 国 頭 靖 | 田 村 謙 介 | 塚 田 佳 充 | 徳 田 博 文 |
| 土 光 均 | 戸 田 隆 次 | 中 田 利 幸 | 錦 織 陽 子 |
| 西 野 太 一 | 又 野 史 朗 | 松 田 真 哉 | 森 田 悟 史 |
| 森 谷 司 | 矢 田 貝 香 織 | 吉 岡 古 都 | 渡 辺 穰 爾 |

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

浦林教育長

【総務部】下関部長

[財政課] 金川課長 大塚課長補佐兼総括主計員

【総合政策部】八幡部長

【市民生活部】藤岡部長

【福祉保健部】塚田部長

【こども総本部】瀬尻部長

【経済部】若林部長

【文化観光局長】深田局長

【農林水産振興振興局長】赤井局長兼農林課長

【都市整備部】伊達部長

【下水道部】遠藤部長

【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長

【教育委員会事務局・こども総本部】長谷川局長兼こども総本部次長兼こども政策課長

【水道局】朝妻局長

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 松下調整官 長谷川庶務担当局長補佐 田中庶務担当係長

傍 聴 者

報道機関 2社 一般 1人

審査事件及び結果

議案第110号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回） [原案可決]

議案第111号 令和5年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算（補正第2回）
[原案可決]

~~~~~  
**午前10時46分 開会**

**○奥岩委員長** ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

先ほどの本会議において、当委員会に付託されました議案第110号、及び議案第111号の2件について、総括質問を行っていただきます。

委員は質問席において、当局は自席にて、起立の上、発言をお願いいたします。

よなご・未来、吉岡委員。

[吉岡委員質問席へ]

**○吉岡委員** 会派よなご・未来、吉岡古都でございます。議案第110号、米子市一般会計補正予算（補正第7回）のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による事業について伺います。

本日、約23億円規模の補正予算が追加上程されました。今日の委員会審議で必要な情報を集めて採択の態度を決めたいと思いますので、明快な御答弁のほどよろしく願いをいたします。補正第7回の大部分を占めます物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のうち、推奨事業メニュー部分について伺います。まず米子市に交付された推奨メニュー分の総額と各事業への配分の割合は幾らかということと、またそういった配分の基になった考え方を教えてください。

**○奥岩委員長** 下関総務部長。

**○下関総務部長** 臨時交付金の本市への推奨事業メニュー分の金額ということでございますけれども、推奨事業メニュー分の交付限度額として2億9,768万6千円が配分されることとなっております。各事業の活用の配分額、それと割合ということでございますけれども、もっとキャッシュレスで応援！よなごプレミアムポイント還元事業、こちらのほうに2億4,992万2千円を配分することとしております。その配分額全体の割合といたしましては、84%というところでございます。それと同じく、物価高騰・円安対応融資利子補給基金積立金、こちらのほうに3,000万円、割合としては10%でございます。そして学校給食費物価高騰対策事業、こちらのほうに1,200万円、割合は4%でございます。デジタル活用支援事業、こちらのほうに576万4千円、割合としては2%でございます。そして最後に考え方ということでございますけれども、これまでもこの臨時交付金を活用しまして、生活者・事業者支援対策を実施しておりまして、今回の追加配分につきましても引き続きエネルギーですとか、食料品などの物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を早急に支援するために別枠の低所得世帯への給付と併せまして、現時点で必要な事業を予算化したところでございます。

**○奥岩委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** J-Coin Payを活用したポイント還元事業に約3億円のうちの84%をさかれているということです。これまで支援が届かなかった中間層への支援策として、この事業とても有効であったと感じています。加えてコロナ禍で問題となったデジタル化の遅れに引き続き対応していくという観点からも意味のある事業であると捉えています。ただ、国の示す推奨事業の例としては子ども食堂などへの支援もうたわれており、そういった市民活動への支援が盛り込まれておらず、大半がプレミアムポイント事業に配分

されたことは、残念に思いました。市民活動への配分がないのはどのような考えに基づくのかを伺います。

**○奥岩委員長** 下関総務部長。

**○下関総務部長** 市民生活への配分がないのか、活用がないのかということでございますけれども、推奨事業メニューによります支援策の検討にあたりましては、国や県による支援の実施状況などを踏まえまして、総合的に判断をしているところでございます。特に挙げていただきました、子ども食堂への支援ということでございますけれども、そちらのほうにつきましては、現在県が実施しております医療・社会福祉・保育施設等物価高騰応援金、こういうメニューがございまして、支援支給の対象施設となっております。その中で支援をされるものと考えております。

**○奥岩委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 県の支援と重複しないような配分というところは理解をいたしました。ただこの臨時交付金の配分の考え方なのですが、コロナ対応から物価高騰へと色合いが変わって行く中で、あまり市の考えは変わっていないのではないかなという印象を持ちました。物価高騰やエネルギー価格高騰の影響は非常に多岐にわたりますので、県の考えも及ばないようなところにも米子市としてはきめ細やかな御配慮を要望いたしまして質問を終わりたいと思います。以上です。

**○奥岩委員長** 以上で総括質問は終わりました。

分科会審査の担当部分については、お手元に配付しております予算決算委員会分科会審査担当表のとおりいたします。

分科会審査のため、暫時休憩いたします。

**午前 10 時 53 分 休憩**

**午後 1 時 00 分 再開**

**○奥岩委員長** 予算決算委員会を再開いたします。

議案第 110 号、及び議案第 111 号の 2 件の議案については、各分科会長から特段報告すべき事項はなかったとの報告を受けております。

これより、討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。

又野委員。

**○又野委員**（登壇） 日本共産党米子市議団の又野史朗です。私は議案第 110 号、令和 5 年度米子市一般会計補正予算（補正第 7 回）について反対し、否決するよう求めて討論をいたします。

当予算については、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業など、物価高騰により生活が圧迫されているところへの対策事業など日本共産党米子市議団としても求めてきたものであり評価するところではありますけれども、反対する理由はもっとキャッシュレスで応援！よなごプレミアムポイント還元事業があるからであります。これは今年 8 月から実施した同様の事業の第 2 弾というものになるということですがけれども、その時もスマホを持たず、このキャッシュレス決済ができない市民や現金で支払いをしている市民には恩恵がなく、一部の市民のみが対象となる公平性に欠けた事業であるということで反対をいたしました。その第 1 弾は還元総額が早々に予算上限に達したということですがけれども、使用するアプリの米子市内でのユーザー数は約 13,500 人で、その時の還

元事業に参加した米子市民は12,874人とのことです。米子市の人口が約14万5千人ということですので、市民の約1割程度しか利用していないということになります。まだ利用者が8割9割とかあるのなら分かりますけれども、市民の10人に1人も利用していないようなアプリで1割にも満たない人にしか恩恵のない事業は行ってはならないと考えます。実際、前回のこの事業の時に多くの市民から不満の声をお聞きしました。経済対策、事業者支援であるとか、必要経費が低く抑えられるといっても市民の納得を得られていない事業は行うべきではないと考えます。同予算については否決を求めます。

私の討論は以上です。よろしくお願ひします。

**○奥岩委員長** 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はございせんか。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩委員長** ほかにないものと認め、討論を終結いたします。

これより、2件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第1111号、令和5年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算（補正第2回）を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○奥岩委員長** 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第110号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第7回）を採決いたします。

本件について、原案のとおり、可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立…安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、大下委員、岡田委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、津田委員、塚田委員、徳田委員、土光委員、戸田委員、中田委員、西野委員、松田委員、森田委員、森谷委員、矢田貝委員、吉岡委員、渡辺委員〕

**○奥岩委員長** 起立多数であります。

よって、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

**午後1時05分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員長 奥 岩 浩 基